

INDEX

1 授業改善アンケートがWeb方式になりました

2014年度秋学期より、学生による授業改善アンケートが従来のマークシート方式からWeb方式となりましたので、ご案内します。

2 第12回FDシンポジウムを開催しました

2014年11月8日(土)に、第12回FDシンポジウム「私の授業の工夫：今日からできる誰でもできる授業改善」を外濠校舎4階S406教室にて開催しました。大変好意的な声をいただきましたので、終了後のアンケートに記載いただきました参加者の声をご紹介します。

今後も、ご活用いただけるような企画を考えていきますので、ご興味がありでしたらどうぞご参加ください。

発行：
法政大学
教育開発支援機構
FD推進センター

ホームページ
<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/>

問い合わせ先
fd-jimu@hosei.ac.jp

学部・研究科の取り組み掲載
のご要望、承ります。

1 授業改善アンケートがWeb方式になりました

すでに学部長会議等を通じてご案内しておりますが、2014年度秋学期より、学生による授業改善アンケートが従来のマークシート方式からWeb方式に変更となりました。

従来は、授業時間内の20分を削って授業改善アンケートに費やしていましたが、Webになったことで、インターネットがつながる環境であれば、学生は回答期間内にいつでも、パソコンはもちろん、スマートフォンや携帯電話、タブレット等から回答をすることが可能です。

また、教員への結果のフィードバックについても、従来は郵送だったため、お手元に届くまで時間を要していましたが、ご自身でWebから確認していただけることで、スピーディーに結果をご覧いただくことができるようになりました。また、ご自身で印刷やCSV出力も可能です。

授業改善アンケートは、学生の回答が集まって、初めてご活用いただける授業改善ツールです。学内各所への掲示や教卓への案内文書設置等、広報活動をさせていただいておりますが、各担当授業内におきましても、学生に入力を行うよう周知をお願いいたします。

アンケート回答期間：2014年12月16日(火)～2015年1月20日(火)

アクセス方法

■ 学生利用URL: <https://fdsur.c-learning.jp/s/>

ID：学生証番号7ケタ PW：生年月日の月日4桁 (初回アクセス時に自由に変更できます)

■ 教員利用URL: <https://fdsur.c-learning.jp/t/>

ID：勤務員番号6ケタ PW：生年月日8桁 (初回アクセス時に自由に変更できます)

※受講登録人数が少数の場合は、学部・研究科の判断により、アンケート実施非対象の場合があります。

詳細については、科目主催の学部・研究科事務にご確認ください。

法政大学「学生による授業改善アンケート(Web)回答方法

アンケート回答期間：2014年12月16日(火)～2015年1月20日(火)

お問合せ先(コールセンター)
TEL: 03-5358-2143(4線)
受付時間：平日9時～17時(受付終了)
2015年1月14日(火)まで受付
※年末年始は受付停止となります。

ログインID: 学生証番号の7桁
パスワード: 生年月日の4桁
(例: 2014年12月16日) → 1216

※このアンケートは、匿名で回答することができます。回答内容は個人情報はわかりません。
※回答内容は、授業改善アンケートの結果として、授業改善のために活用されます。
※アンケートの結果は、授業改善のために活用されます。

スマートフォンアクセス

① スマートフォンでアクセス
② ログイン
③ アンケート回答

▲ 学生用マニュアル

法政大学
「学生による授業改善アンケート」システム
(C-learning)
教員用画面操作マニュアル

法政大学教育開発支援機構FD推進センター

▲ 教員用マニュアル

教授室・講師室等にもマニュアルを設置しています。
FD推進センターホームページにも掲載していますので
参照ください。

■ 操作方法が分からない場合の
問い合わせ先として、
コールセンターを用意しています。

03-5358-2143

(学生・教職員どちらも対応します)

2014/12/16～12/22および
2015/1/8～1/14 の期間中
24時間受付していますので、
どうぞご活用ください。

2 第12回FDシンポジウムを開催しました

2014年11月8日(土)に、第12回FDシンポジウム「私の授業の工夫：今日からできる誰でもできる授業改善」を外濠校舎4階S406教室にて開催しました。終了後のアンケートでも大変ご好評をいただきましたので、ご紹介いたします。

■実施日：2014年11月8日(土)13:00～16:35 場所：市ヶ谷キャンパス 外濠校舎4階 S406教室

■参加者：学内 教員 9名、事務職員 3名、学生等 3名(計15名)
学外 教員 28名、事務職員 8名、一般(学生含む)15名(計51名)
関係者 登壇者 5名、教育支援本部統括常務理事 1名、FD推進センター教員 6名、教育支援課事務職員 3名(計15名)

合計 81名

※登壇者とFD推進センター教員の重複があるため、実人員計14名

第12回FDシンポジウム プログラム

基調講演『あなたがやらずに誰がやる、授業の質向上と質転換』小田 隆治 氏 (山形大学 高等教育研究企画センター・地域教育文化学部 教授)

話題提供①『ちょっと待つ。学生が主体的に学ぶ環境の作り方—初年次教育で育てる社会人基礎力のきそ—』たなかよしこ 氏 (日本工業大学 工学部共通教育系・初年次教育課程 准教授)

話題提供②『SA/TAを利用した学生中心の授業改善』白鳥 成彦 氏 (嘉悦大学 ビジネス創造学部 准教授)

話題提供③『主体的学修の条件—法学部専門講義科目における試みから—』耳野 健二 氏 (京都産業大学 法学部 教授)

話題提供④『学生を「経験主義に陥らせず、評論家にもしない」授業—専門科目「学校論Ⅲ(キャリア教育)」での試み—』

児美川 孝一郎 (法政大学 教育開発支援機構 FD推進センター長・キャリアデザイン学部 教授)

質疑応答

参加者アンケート(抜粋)

学生に、事前配布プリント等で、情報を提供しすぎていたのではないかと自分自身の授業について反省しました。思考させるための最低限の知識を、と考えるあまり、知識だけを一方的に与える授業になっていたと思いました。本日講演内で伺ったいくつかの工夫を明日からでもすぐのためにしてみようと思います。また、ためしてみよう、取り入れてみよう、学生にめんどろだ・・・と思われるも実行する勇気が必要だと感じました。

新任教員ですので悩みと反省の日々ですが、このシンポジウムはいつも大変勉強になります。特に今日は、小田先生の学生主体型授業におけるグループワークの進め方、たなか先生、耳野先生のリアクションペーパー、ミニレポートの使い方、児美川先生のアクティブラーニングについての考え方等参考になりました。現在、パワーポイントを使って授業を行うことが多いのですが、パワーポイントの使い方についても考えさせられました。

他大学で企画されたFD関連のシンポジウムに参加するのははじめてでしたが、大変勉強になりました。個人的には(メディアについての研究をする立場からしますと)授業運営における各種媒体、たとえば、パワポか板書か、あるいは動画制作やLine使用を組み込むか等々、さまざまな立場からのお話をうかがえたので興味深かったです。

教務職員として、教養教育の運営にかかわる中、自己肯定感のひくいアクティブではない学生の眼を、いかにすれば輝かせることができるか、教職協働で大学を良くすることができないか、日々考えています。しかし、教員がどのように授業をしているのか、また工夫をしているのか知るチャンスが少なく(職員が授業を気軽に見学できる空気ではなく)、このような機会があることで、お話が聞けて視野が広がったと感じています。

話題提供の中にあつた工夫をインテグレートして、自分にできる授業をつくっていこうと思う。SA/TAの使い方でも工夫が必要であることもわかったことのひとつである。補助からチームメンバーとして活用していきたいと思う。ミニレポートで質問を書かせることについて、学生は「〇〇するにはどうしたらいいですか?」と書いてくる。つまり解答を求めてくるのである。大学は「考える」ことをする場であることを定着させることに工夫が必要だと感じた。

今後も、是非FD推進センターのイベントにご参加ください。お待ちしております。

大学で様々な取り組みをさせていただいていること、子供たちの未来を考えて先生方が授業の工夫をしてくださっていることをお伺いできて、感銘をうけました。感謝の限りです。

今、企業でも人の育成は、とても重要視していますが、「課題だらけ」というのが、現状です。新卒面接では、「大学生活の中で頑張ってきたこと」と聞いても、実際の報告は、アルバイト経験だったり、新卒研修のレポートを書かせても中身が無く、内容もちぐはぐだったり、質問に対しての適切な返答・レポートの構成まで指導しなければいけなくなっています。これからの日本の子供たちの教育を本気で考える時代が来ていると思います。本日の講演を活かして「自ら学ぶ」要素を研修等に取り入れていきたいと思っています。ありがとうございました。

